

おうせがわ 逢瀬川河川改修 進捗状況

令和8年9月末現在 事業進捗率 99%



“咲田橋は令和8年12月に開通を予定しています”

① 逢瀬橋から大窪橋までの区間

【令和8年2月撮影】



① 逢瀬橋から大窪橋間の築堤護岸及び堤防道路が令和4年度に完成しました。

② 大窪橋から咲田橋までの区間

【令和8年4月撮影】



② 大窪橋から咲田橋間の築堤護岸及び堤防道路が令和4年度に完成しました。(咲田橋施工範囲を除く)
現在、新しい咲田橋の橋桁を架設し、令和8年12月開通に向けて工事を進めています。

③ 咲田橋から東部幹線(市施行)までの区間

【令和8年2月撮影】



③ 咲田橋から東部幹線間の築堤護岸及び堤防道路が完了しました。

④ 東部幹線から幕ノ内橋までの区間

【令和8年2月撮影】



④ 東部幹線から幕ノ内橋上流部間の築堤護岸が完成しました。令和5年度には幕ノ内橋が完成しました。

一級河川 逢瀬川 郡山市若葉町地内

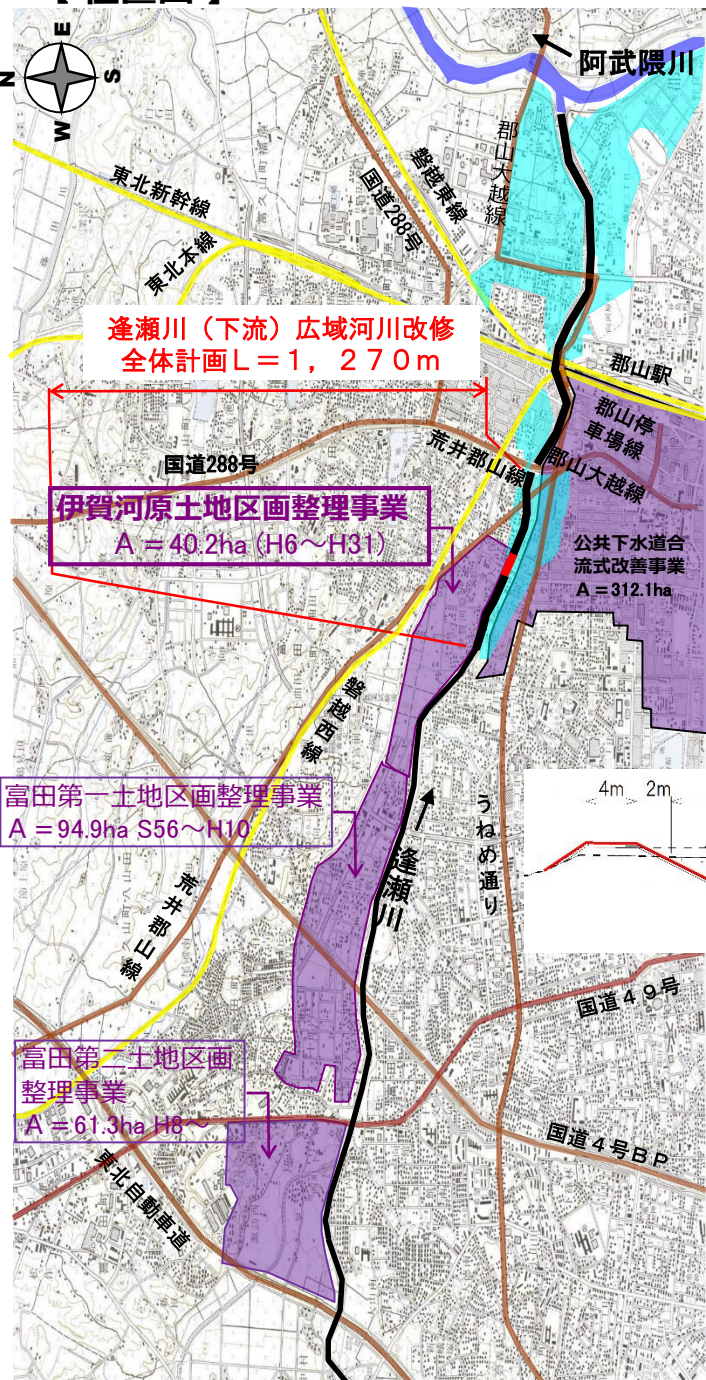
逢瀬川は、奥羽山脈の豊かな森林地帯を源流とし、本県の経済・文化の中心都市である郡山市の市街地を貫流して阿武隈川へ流下する、流域面積56.6km²の一級河川です。

市街地の浸水被害を解消し人々の安全で安心な生活を守ること、市街地の活性化を支援することを目的に、景観に配慮したまちづくりと一体となった河川整備を進めています。

事業の必要性と効果

河川断面が狭小であったため、昭和61年8月の台風、平成10年8月や平成23年9月の集中豪雨などに伴い沿江市街地の浸水被害が発生しました。また、令和元年東日本台風時には阿武隈川本川の異常な水位上昇に伴う浸水被害も発生しています。河川の断面積を広げるとともに堤防の高さを上げることで、浸水被害の発生を軽減します。

【位置図】



事業概要

全体計画延長：L=1,270m

事業着手：昭和63年度

事業完了：令和8年度（予定）

事業概要：築堤護岸工 L=1,270m

橋梁工 N=3橋

大窪橋（完成）

咲田橋（施工中）

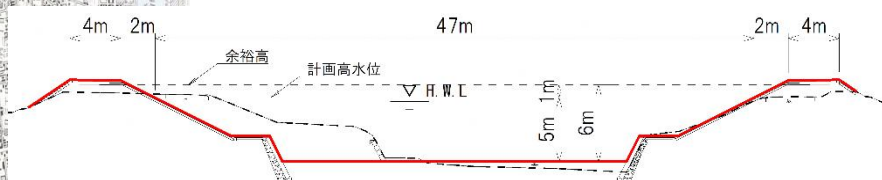
幕ノ内橋（完成）

樋門工 N=5箇所（完成）

令和8年度の事業内容

- ・咲田橋新橋上部工（橋桁）
- ・取付道路工
- ・仮歩道橋撤去
- ・護岸工
- ・物件補償（咲田橋関連）

【河川：標準横断図】



【令和元年10月出水状況】

